

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年 3月 15日

事業所名:COCO育

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守したスペースを確保しています。	少し手狭な気がする。 はい63%、どちらともいえない15%、 いいえ4%、わからない19%	机、棚等のレイアウトを見直してスペースの有効活用に努めます。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の職員を配置しています。	専門性については知る機会がない。 はい78%、わからない22%	保護者との懇談等で、職員の専門性について説明する機会を設けていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的に応じてフロアのレイアウトを考え安全な導線を確保しています。	はい67%、どちらともいえない19%、 わからない15%	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日掃除を行い、清潔を保っています。	はい70%、どちらともいえない19%、 いいえ4%、わからない7%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日職員全員でミーティングを□っています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	□っておりません。		今後 必要に応じて実施を検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	不定期ですが施設内勉強会を行っています。		定期的な勉強会を実施していきます。
適切な支援の提	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者面談を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成しています。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別・集団活動を実施しています。	はい98%、わからない2%	

提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目、具体的な支援内容を記載しています。		
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が□援計画書を確認しています。具体的な□援が出来るように、児童別に支援実施ノートを作成して職員全員が確認しています。	はい96%、どちらともいえない4%	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当の職員が主体的な立案者となり、全職員の意見、利用者の現在の状態等確認して立案しています。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇などのサービス提供時間に 応じて、支援を行っている。長期休暇は、様々なプログラムを組み、支援を行っています。	はい78%、どちらともいえない15%、 わからない7%	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員全体で様々な意見を出し合い、活動プログラムを構成している。特に長期休暇、学校休業日には、外出や季節行事を取り入れています。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日開始前に職員全員でミーティングを行い支援内容や役割分担の確認をしています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎□終了後に職員全員で振り返りを行い情報の共有化を図っています。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の支援内容や様子を個々の記録として残して、支援の検証・改善の継続実施に取り入れています。		

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月ごとに保護者面談をした結果を踏まえ、支援計画の見直しを行っている。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	保護者からの依頼や担当の方からの提案があれば積極的に参加しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、該当者なし。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、該当者なし。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在のところ、該当者なし。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	就労の際、各事業所等へ訪問して情報の提供及び今後の連携を実施しています。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	可能な限り参加しています。		参加できる機会を増やせるように努めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在のところ行っていません。	はい11%、どちらともいえない15%、いいえ33%、わからない41%	障がい者スポーツ(ボッチャ)での交流を実施予定です。

8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事である「喜劇」の開催を公民館で行っています。		
---	-------------------------------	------------------------------	--	--

保護者への説明責・連携支援

1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設の見学時や契約時に重要事項を丁寧に説明し同意を得ています。	はい93%、どちらともいえない7%	
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を丁寧に説明し、同意を得て交付しています。	はい100%	
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		はい59%、どちらともいえない19%、わからない22%	
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳に状況や課題について記載しています。	はい81%、どちらともいえない11%、わからない7%	
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、時間を設け懇談や電話等で相談に応じています。	はい85%、どちらともいえない7%、わからない7%	
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の勉強会を開き、保護者同士の連携に繋がる支援をしていますが参加者が少ない状態です。	はい41%、どちらともいえない19%、いいえ4%、わからない37%	保護者会を定期的実施して、保護者同士の連携支援に努めます。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	24時間転送電話にて、迅速な対応ができるようにしています。苦情があった場合は速やかに直接お話しする、もしくは電話、メールにて対応するようにしています。	はい52%、どちらともいえない11%、わからない37%	
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳に記載、配布物の作成、メールで行っています。	はい85%、どちらともいえない7%、わからない7%	
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	都度、配布物を作成してお知らせしています。	行事の後に報告の様なものがあると有難い。 はい63%、どちらともいえない22%、わからない15%	行事の後の報告については検討して実施していきます。

10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、鍵つきの書庫で保管し、外部にもちださないように徹底しています。	はい85%、どちらともいえない7%、わからない7%	個人情報の保護に努めます。
----	-------------------	--	---------------------------	---------------

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいます。	はい37%、どちらともいえない26%、いいえ11%、わからない26%	保護者に閲覧していただきやすいようにします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震、□災の発□に備え7□に避難訓練を実施しました。今後も毎年定期的に行います。	はい44%、どちらともいえない19%、いいえ4%、わからない33%	保護者への避難訓練実施予告を行っていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングにおいて虐待防□についての職員研修を□っています。		定期的な実施に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に必ず保護者の方へ説明し同意を得ています。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認しています。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は、ファイリングして全職員で共有しています。		